

2022年度事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

【公益事業①】

公益事業①については「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営に関わる諸事業で主なものは次のとおりです。

1. 入館状況 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
193日	1,386人	1,375人	6人	5人	519,050円

(参考:2021年度)

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
183日	1,914人	1,796人	43人	75人	688,650円

(参考:2020年度)

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
143日	1,041人	1,034人	3人	4人	417,900円

—昨年2020年度リニューアルオープンを行ない、本年度はキーン先生の生誕100年に当たることから、2022年4月1日から企画展「写真でつづるドナルド・キーンのあゆみ 思い出の一枚、私の一言」を開催しましたが、いまだ続くCOVID-19拡大の状況下、各種対策を講じての開館を継続しております。また首都圏や遠方地からの来客促進や団体客の来館等は控えざるを得ない状況は続き、新聞等による広告も新潟県内に限定しての投稿を継続しております。

講演会等のイベント等についても遠方地からの外部講師招聘等もできにくい状況は継続しておりますが、その中ロビー展の定期開催や猿八座やかしわざき朗読サークルたろうの会による朗読会の公演実施等できるものについては行なっており、キーン先生生誕100年の展示会等の波及効果による首都圏等からの来客や初年度ほどの効果は出ていないものの2年目を迎えた新潟県美術館・博物館支援事業「にいがたぐるっとミュージアム」等もあり、誘客に努めた結果来館者数については計画(1,500人)に対して92.4%の達成状況となっております。

2. 展示活動

2020年度はセンターの2013年9月開館時より2019年2月のドナルド・キーン先生のご逝去までの先生の活動や著作・出版物及び当センターの特別企画展示の実施実績のクロニクル追加掲出紹介、これまでの特別企画展示室を2区分し新たに展示室2を設けてこれまで特別企画展示として展開した「源氏物語とアーサー・ウェーリ」「太平洋戦争とドナルド・キーン」の常設展示化をはじめ、英文による概説付加など各種展示内容のリニューアルを行ない、更に秋よりは英語・日本語による音声解説も開始してまいりました。本年度は上記の通り、開館期間中ドナルド・キーン先生生誕100年特別企画展「写真でつづるドナルド・キーンのあゆみ 思い出の一枚、私の一言」を開催しました。

3. 普及活動

本年度においては、事業計画(2022年6月定時評議員会資料)にて、COVID-19 対策にて規模等を縮小して、講演会を1回・ギャラリートークを1回・猿八座公演2回・たろうの会による萩原朔太郎朗読会1回・中津副館長連続講演会2回(結果実施は1回)の他、大型映像ホールで映像ライブラリーを観る会及びロビーを使つての「クレデンザを愉しむ会」(毎月1回開催・ボランティア主催)等を計画しておりました。これらはCOVID-19 拡大防止のためのイベント自体の自粛や講師等の首都圏などからの移動の禁止・制限などもありながら、ほぼ計画通りの実施をしております。

12月に予定しておりましたローレンス・コミンズ教授の講演会については、次年度の10周年記念イベントの中で英語歌舞伎の上演開催として本年度は実施しませんでした。また実施に当たっては三密の防止などの観点から参加人数を縮小して開催せざるを得ない状況は続いております。その中にはありますが、実施した活動は以下の通りです。

(1) 講座・講演会等

①人形浄瑠璃猿八座公演の開催

○人形浄瑠璃猿八座公演「説経 をぐり」

開催日時：2022年6月12日(日) 13:30～15:20

会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール

内容：「説経 をぐり」三段目・五段目

参加料：猿八座応援金として1,000円/人・全額猿八座へ寄贈(別途入館料必要)

入場者数：45名(マスクミ取材・ボランティア応援者含む)

○人形浄瑠璃猿八座公演「耳なし芳一」「むじな」他

開催日時：2022年9月11日(日) 13:30～15:00

会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール

内容：原作・小泉八雲「怪談」より「耳なし芳一」「むじな」及び「あんもち三つ」

参加料：猿八座応援金として1,000円/人・全額猿八座へ寄贈(別途入館料必要)

入場者数：61名(マスクミ取材・ボランティア応援者含む)

②朗読会の開催

○「朗読で聴きたいドナルド・キーンの心 萩原朔太郎編」

開催日時：2022年10月15日(土) 13:00～・14:30～

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎 大型映像ホール

内容：かしわざき朗読サークルたろうの会による朗読会、本年度萩原朔太郎没後80周年を記念して全国52施設にて展開した「萩原朔太郎大全2022」にて実施

参加料：無料(別途見学料必要)

入場者数：(1回目)23名 (2回目)33名 (合計)56名

③講演会他

計画では年間1回、ローレンス・コミンズ教授の講演会を12月に予定しておりましたが、本年度講師を招いての講演会は実施しておりません。

○企画展ギャラリートーク

開催日：2022年4月1日(金) 11:00～

説明者：石黒学芸員

参加料：無料(別途見学料必要) 参加者： 3名

④定期講演会・連続イベント

○中津義人副館長連続講演会「ドナルド・キーンの遺したもの」

開催日：2022年7月23日(土) 13:30～14:50

講師：中津義人副館長 会場：ドナルド・キーン・センター柏崎 大型映像ホール

参加料：無料(別途見学料必要) 参加者：16名

○大型映像でみる「DKCK映像ライブラリー」

いずれも、

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎 大型映像ホール

参加料：無料(別途見学料必要)

2022年 4月24日(日)	参加者： 9名
2022年 5月22日(日)	参加者：11名
2022年 6月19日(日)	参加者：10名
2022年 7月24日(日)	参加者： 9名
2022年 8月21日(日)	参加者：12名
2022年 9月18日(日)	参加者： 6名
2022年10月23日(日)	参加者： 6名
2022年11月20日(日)	参加者：10名
2022年12月18日(日)	参加者： 6名

○クレデンザを愉しむ会(クレデンザによるSPレコード鑑賞会)

いずれも、

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎 ロビー

参加料：無料 主催：ドナルド・キーン・センター柏崎ボランティア

2022年 4月10日(日)	参加者：21名
2022年 5月 8日(日)	参加者：15名
2022年 6月 5日(日)	参加者：22名
2022年 7月10日(日)	参加者： 9名
2022年 8月14日(日)	参加者： 9名
2022年 9月 4日(日)	参加者：18名
2022年10月 9日(日)	参加者：19名
2022年11月13日(日)	参加者：14名
2022年12月11日(日)	参加者：32名

(2) 地域との連携事業

地域との連携については、例年同様、当センターの地域密着と幅広い世代に親しんでもらう事を目的に教育分野、地域サークル等との連携を図る計画でしたが、COVID-19 禍のもと積極的な活動はできませんでした。なお次年度に向けて柏崎刈羽地区中学校でのミニパネル展示企画を校長会のご協力をいただき、検討を進めております。

①観光ちよっ得タクシー(柏崎市観光課、柏崎市観光協会)への協力

柏崎駅を拠点にした二次交通整備の一環として利用者の利便性を図る。

対象区間：柏崎駅⇄ドナルド・キーン・センター柏崎

期 間：4月1日～12月25日 負担金(予側)：8,000円(2枚/月×8か月)

利用状況：2月28日現在 35枚 負担額(実績)：17,500円

(3) 協力ボランティア事業

ボランティア協力活動については、センターの運営を支えていただく大きな、太い柱になっております。ボランティア主催の勉強会や読書会、ロビー展を定期的に開催することで、ボランティア組織の質的向上、地域密着そして口コミによる集客効果に繋がっております。本年度は以下ロビー展の開催を行ないました。COVID-19 禍にて首都圏・遠隔地等からの来館や団体客誘致が困難な状況下、柏崎市内・近郊を中心とした来館促進に貢献していただいたと考えております。また通常の見守り・案内説明の活動についても COVID-19 対策にて除菌活動を中心に行なっております。

① ロビー展の開催&講演会 ロビー展 8回(ボランティア主催は7回)、講演会 0回

4月 3日～17日「樂三昧 五十嵐勲の世界 篆刻と写真展」

期間内ロビー展のみ見学者数：110名

6月 5日～19日「長谷川恭子ドールサークル 手作り人形展」

期間内ロビー展のみ見学者数：104名

7月 3日～17日「多田清虹 美里絵のこころ展」

期間内ロビー展のみ見学者数：36名

8月 7日～21日「日本画展 加藤宏美と仲間達」

期間内ロビー展のみ見学者数：120名

9月 4日～18日「猪俣紀子オランダ工芸ヒンデローベン展」

期間内ロビー展のみ見学者数：59名

10月1日～31日 ミニ企画展「ドナルド・キーンが語る萩原朔太郎『日本文学を読む』
(ドナルド・キーン著)より」 センター主催・「萩原朔太郎大全2022」関連企画

※ロビー展のみ見学者数は把握せず

11月6日～20日 「古裂(こぎれ)の彩り ちりめん戯(あそび) 福島眞美展」

期間内ロビー展のみ見学者数：141名

12月4日～18日 「朴石土房 佐藤弘和展」

期間内ロビー展のみ見学者数：52名

② ボランティア文化部による読書会の開催 5回

4月 2日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：14名

6月 4日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：11名

8月 6日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：9名

10月1日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：9名

12月3日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：11名

(4) 他機関への事業協力

これらについても COVID-19 禍による全般的なイベント等の自粛により、前年・前々年同様能動的な取組みはできでおりませんが、本年度はドナルド・キーン生誕100年に当たることから、県立神奈川近代文学館「生誕100年ドナルド・キーン展-日本文化へのひとすじの道-」(特別協力:一般財団法人ドナルド・キーン記念財団・編集協力:キーン誠己、開催期間:5月28日(土)～7月24日(日))への協力を行ない、パネル・資料等を貸し出した他、財団・センターとして協力団体として名前を掲出しています。なおドナルド・キーン生誕100年記念展としては、これ以外に本年度以下2展が開催されました。

○軽井沢高原文庫「生誕100年ドナルド・キーン展 軽井沢と日本語の美」

7月16日(土)～10月10日(月祝)

○京都文化博物館「ドナルド・キーン生誕100年記念 ドナルド・キーンと画家・井澤元一」

8月6日(土)～10月2日(日)

その他例年同様、東京都北区中央図書館「ドナルド・キーンと平和展」への協力として展示パネル(キーン先生アメリカ海軍時代の写真パネル2枚)を貸出しました。

7月28日(金)～9月4日(日)

会場：北とぴあ地下展示ホール(東京都北区・8月1日(月)～6日(土))、北区中央図書館ドナルド・キーンコレクションコーナー(東京都北区・8月7日(日)～31日(水))

主催：北区中央図書館・北区図書館活動区民の会

4. 教育活動

本年度のドナルド・キーン・センター柏崎の運営事業に関連した教育活動は、現在実施していませんが、本年度柏崎・刈羽の小中学校への校長会への働きかけを行っており、次年度以降成果につながるものと考えております。

5. 書籍の寄贈

本年度においても、ここ数年同様例年の当財団主催の開館記念講演会を開催していないことやCOVID-19防止等の観点から、福島県双葉郡双葉町・同郡楡葉町・同郡富岡町・同郡大熊町に対してのキーン先生著作本の寄贈は実施していません。

6. 広告・広報活動

展示、普及事業の告知及び取材、広告出稿を行いました。

① 広報活動

- ・特別企画展「写真でつづるドナルド・キーンのあゆみ 思い出の一枚、私の一言」ポスター、チラシの作成と配布 1回
- ・普及事業のチラシの作成と配布 27回
- ・ホームページの更新 (お知らせページ更新) 95回
- ・新聞、雑誌掲等載件数(連載記事含む) 106件
- 他、新潟日報「県内主要美術館・博物館ガイド」「こしじガイド」等への掲載 85回
- 柏崎日報「催し物コーナー」「暮らしの情報サービス」等への掲載 222回
- ・テレビ・ラジオ情報掲出(twitter・facebook等含む) 14件

② 広告活動

- ・柏崎コミュニティー放送(4月～3月) 24回
- 「柏崎発信! ドナルド・キーンの世界」平成26年7/25～毎週金曜日13:30～10分間
- ・広告掲載 新聞広告 68回
- ・雑誌k o m a c h iへの広告掲載 1回
- ・柏崎コミュニティー放送スポットCM(年賀広告含む) 64回
- ・NST新潟総合テレビ柏崎紅葉ウォーキング企画への協賛
(センター名掲出告知スポット10/15～11/9にて15秒テレビスポット40本・30秒テレビスポット10本露出、商品買上メリットとしてDKCトートバッグ50個あり)

7. 褒賞事業

これまでの理事会において、相談事項として事務局案他を説明し各理事からのご意見をいただきながら財団設立・センター開館10周年の記念事業の1つとして検討を進めてまいりましたが、6月開催の2022年度第2回理事会にて「ドナルド・キーン・センター柏崎アワード」の名称にて、キーン先生の著作を読むかセンターへの来館見学を通じ、キーン先生の思いを共有しての自分の思いや考えを文章化して応募いただき、審査の上優秀なものを表彰するという形で理事会の承認を得ました。その後一般財団法人ドナルド・キーン記念財団より同名称の使用拒否・修正の要請があったため、「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」に名称変更及び一部内容を修正して進行する旨、書面決議による理事会での承認等の手続を経て実施進行しました。

審査員5名の選定他詳細を決定し、新潟県教育委員会・柏崎教育委員会及び報道機関各社の後援をいただき、12月14日を情報解禁日として設定し、12月15日には新潟日報社朝刊にカラー5段の事業告知広告を投入しました。また告知チラシを新潟県内の小中高等学校823校に5枚/校に発送しました。財団及びセンターのHPでも12月下旬よりアワードの紹介を掲載しました。

作品募集を2023年2月1日～5月15日としていることから新たに作品募集告知ポスター・チラシを制作し、2月1日より新潟県内の小中高等学校821校の他県内行政機関18件・施設57件・美術館/博物館/図書館128件・県外文学館71件及び後援をいただいている新潟県教育委員会/柏崎市教育委員会/報道機関16件に各ポスター1枚・チラシ10枚を発送した他、2月1日の新潟日報朝刊にカラー5段の作品募集告知新聞広告を掲載しております。同日よりHPからの応募も開始しております。3月には13日に柏崎日報・29日に新潟日報にアワード作品募集広告を掲出しましたが、3月末時点での応募は大学生・一般の部数名と極めて低い状況でした。

以上

【公益事業②】

公益事業②については、教育及び文化・芸術・スポーツ等の振興に関する助成・協賛を行い、広く教養の向上及び心身の健全な発展に寄与することを目的に、「奨学金の貸与」「文化芸術・スポーツ振興に対する助成事業」を実施しております。

(1) 奨学金の貸与

人員(3月31日現在)	4月～3月貸与額	4月～3月返還額
大学院1生 1名(30,000円)	合計	126名
5年生 3名(30,000円)※1.2.3	33,990,000円	29,306,000円
4年生 20名(30,000円)※4	(前年同期：31,050,000円)	(前年同期：116名
3年生 18名(30,000円)※5		24,177,000円)
2年生 24名(30,000円)※6		
1年生 28名(30,000円)		
94名(前年同期：85名)		

※1.2.3 5年生は、1年留年の1名および休止から貸与再開(4月、10月)した2名

※4 2022年6月にて経済的に安定したため、奨学金貸与辞退1名

※5 2022年4月にて経済的に安定したため、奨学金貸与辞退1名

※6 2022年10月にて退学のため、奨学金貸与辞退1名

・3月15日 2～5年生66名および大学院1年生1名に対し継続願書等を発送、貸与終了者19名に対し返還のしおり・奨学金借用証書を発送

- ・ 4月 1日 2022年度からの返還開始者16名に返還指示書を発送
- ・ 4月 2日 合格者28名に対し振込先通知書を発送
- ・ 9月25日 対象地域の学校長・奨学生担当教諭宛(計841校)に、第47回(2023年度)奨学生募集要項を発送
新潟県 141校、山形県 76校、長野県 127校、福島県 122校、
青森県 87校、秋田県 72校、岩手県 95校、宮城県 121校
- ・ 9月28日 第47回(2023年度)奨学生募集要項を財団HPに掲載
- ・ 11月25日 奨学金返還中の124名に「奨学金返還期日のお知らせ」を発送
- ・ 12月31日 第47回(2023年度)奨学生応募締切
- ・ 2023年1月21日・23日
第47回(2023年度)奨学生選考委員会開催 8県24校28名の応募者より
大学不合格・奨学金貸与辞退者が毎年一定数あることやここ数年の定員未達状況等
も考慮して、一次合格者27名を選考し、1名を補欠候補者とし、該当高校及び本人に
通知
- ・ 2月6日・14日
2022年度奨学金返還予定に対し未達・未納者15名に対し、3月31日を納
付期限とした「奨学金返還期日のお知らせ」を発送
- ・ 3月15日 2023年度から奨学金返還を開始する14名に「奨学金返還指示書」を、20
23年度で奨学金貸与が終了する20名に「奨学金返還のしおり・奨学金借用証
書」等を、2023年度奨学金継続貸与予定者71名に「奨学金継続願」を送付。
他3月中に奨学金貸与辞退者3名(転学2名・退学1名)の手続きを行なった他、
2023年度新奨学生1名から専門学校進学にて辞退の申出があり、補欠候補者
へ繰上合格・採用の書類を送付

(2) 文化芸術・スポーツ振興に対する助成事業

- ・ 3月15日 財団HPにて「2022年度文化芸術・スポーツ助成事業」募集要項を掲載
- ・ 5月13日 第1回理事会にて各理事からの選考を5月23日までに提出いただき、それを参
考にしながら最終的な選考をその集計結果を前提として理事長一任とすることに
承認いただく
- ・ 5月27日 文化芸術振興事業27件・スポーツ振興事業4件より、理事長により以下文化芸
術振興事業助成3件、スポーツ振興事業助成1件を選考
なお助成金は各100,000円とした
○文化芸術振興助成事業：
 - ・ 団体名 新潟県漢詩連盟(新潟県)
事業名 「漢詩誌上展」作品集の作成と漢詩実作・漢字理解講座の開催
助成金 100,000円
 - ・ 団体名 かぶこ(東京都)
事業名 はじみてい やーたい、沖縄芸能 組踊!
 - ・ 団体名 電車と青春21プロジェクト(滋賀県)
事業名 第16回青春21文字のメッセージ
助成金 100,000円

○スポーツ振興助成事業

- ・団体名 特定非営利活動法人西宮フットボールクラブ(兵庫県)
- 事業名 フラッグフットボールの体験会開催による地域内外交流イベント
- 助成金 100,000円

- ・5月28日 上記4団体に対し、交付決定通知書を発送
- ・6月10日 新潟県漢詩連盟・電車と青春21プロジェクトの2団体に対し助成金交付(振込)
- ・6月30日 かぶこに対し助成金交付(振込)
- ・7月26日 電車と青春21プロジェクトより当財団2022年度文化芸術振興助成事業の記載のある展示会開催・募集チラシ受領
- ・10月22日 上記4団体に対し、状況伺い書を発送
- ・10月28日 かぶこより事業進行状況報告受領、11月17日に事業実施完了報告受領
- ・11月 2日 電車と青春21プロジェクトより事業進行状況報告受領
- ・11月 7日 新潟県漢詩連盟より事業進行状況報告受領
- ・12月13日 かぶこより事業実施報告書、電車と青春21プロジェクトより進行状況報告受領
- ・2023年1月26日
電車と青春21プロジェクトより直近の進行状況報告受領
- ・2月 7日 特定非営利活動法人西宮フットボールクラブへ状況伺い書を再発送
- ・3月14日 財団HPにて「2023年度文化芸術・スポーツ助成事業」募集要項を掲載
- ・3月28日 新潟県漢詩連盟より事業報告書他受領
- ・3月31日 特定非営利活動法人西宮フットボールクラブより連絡があり、助成金の申請は認められない旨伝え、「辞退」扱いとすることとした

以上

【収益事業】

収益事業は「ドナルド・キーン・センター柏崎」でのオリジナルグッズ販売事業です。

(1) 4月～3月末現在の売上実績	424,894円(1日当2,202円)
買上人数	288人
購入者1人当単価	1,475円

以上

【財団の運営に資する主な活動の報告】

(1) 主要な会議

① 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
<p>第1回理事会 2022年5月16日 ㈱ブルボン統合研修センター大ホール</p>	<p>第1号議案 2021年度決算報告において、特定費用準備資金として18,000千円を計上することについての承認の件</p> <p>第2号議案 2021年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件</p> <p>第3号議案 公益事業2 文化芸術・スポーツ振興事業助成選考の件</p> <p>第4号議案 定時評議員会の招集通知の件</p> <p>第5号議案 財団が所有する株式の議決権行使に関する件</p> <p>その他報告相談事項に関する件 (1)2022年度事業計画、年間活動計画他についての報告 (2)2023年度特別企画展についての報告 (3)褒賞事業の件</p>	<p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>事務局より報告がありました。</p> <p>事務局より報告がありました。 出席各理事からの意見をいかだき、それらを反映しながら修正改善を図り、第2回理事会に議案として提示できるよう進めていくことしました。</p>
<p>第2回理事会 2022年6月13日 ㈱ブルボン統合研修センター大ホール</p>	<p>第1号議案 褒賞事業についての承認の件 その他報告相談事項に関する件 (1)島内景二評議員の退任についての報告 (2)2022年度文化芸術・スポーツ振興事業助成選考結果についての報告 (3)新潟県「美術館・博物館等支援事業」参加施設登録申請についての報告</p>	<p>本日の事務局提案内容を基本として今後進めていくことが承認されました。 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。</p>
<p>書面決議による理事会 2022年9月10日 ※書面決議にて行ないました</p>	<p>第1号議案 褒賞事業修正内容についての承認の件 ※6月13日開催の第2回理事会にて決議された「褒賞事業承認の件」について、その名称及び内容を変更修正することについて承認を得るもの</p>	<p>原案のとおり承認されました。</p>
<p>第3回理事会 2022年11月14日 ㈱ブルボン統合研修センター大ホール</p>	<p>第1号議案 褒賞事業の実施の承認の件</p> <p>第2号議案 奨学生選考委員委嘱について その他報告相談事項に関する件 (1)2022年度4～10月事業報告についての報告 (2)2022年度資金使用状況の報告 (3)財団設立・センター開館10周年記念イベントについての報告 (4)2023年度特別企画展についての報告 (5)2022年度第4回理事会開催についての報告</p>	<p>各理事から修正・文言変更等のご意見をいただき、それらを前提に事務局にて修正を行ない、後日理事・監事宛送付の上了解を得ることとして基本的に承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>事務局より報告がありました。</p> <p>事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。</p> <p>事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。</p>

<p>第4回理事会 2023年3月13日 (株)ブルボン統合研修センター大ホール</p>	<p>(6)直近の報告事項 第1号議案 2023年度事業計画(案)の承認の件 第2号議案 2023年度収支予算(案)の承認の件 その他報告相談事項に関する件 (1)2022年度事業報告・資金使用状況について (2)2023年度奨学生選考委員会及び合格者について (3)文化芸術・スポーツ等の振興活動への助成について (4)2023年度理事会・評議員会の開催について (5)財団設立・センター開館10周年記念事業について (6)その他・直近の報告事項</p>	<p>事務局より報告がありました。 原案のとおり承認されました 原案のとおり承認されました 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。 事務局より報告がありました。</p>
--	--	---

② 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
<p>2022年度 定時評議員会 2022年6月13日 (株)ブルボン統合研修センター大ホール</p>	<p>第1号議案 2021年度貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録承認の件 第2号議案 島内評議員の退任についての承認の件 その他報告事項に関する件 (1)2021年度事業報告について (2)2022年度事業計画及び収支予算書について (3)2022年度年間活動計画について (4)直近の報告事項について</p>	<p>原案のとおり承認されました。 原案のとおり承認されました。 理事会にて承認された事項について事務局より、報告がありました。</p>

③ 奨学生選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
<p>(第47回(2023年4月進学)選考委員会) (2023年1月21日) (株)ブルボン統合研修センター大ホール</p>	<p>出願者28名についての選考</p>	<p>各委員の意見を参考にし、大学不合格・奨学金貸与辞退者が例年一定数あることやここ数年の定員未達状況等も考慮し、一次合格者27名を選考し、1名については世帯年収を考慮して補欠候補者としてしました。</p>

(2) 運営・組織に関する報告

- ・ 3月 25日 辻本郷税理士法人より2021年度事業計画・収支予算書他を内閣府へ電子申請
- ・ 3月 31日 財団設立・センター開館10周年記念誌制作業務委託にて1名と契約締結
- ・ 4月 8日 時間外労働・休日労働に関する協定届、1年単位の変形労働時間制に関する協定届等について、長岡労働基準監督署へ届出
- ・ 5月 16日 2022年度第1回理事会開催
- ・ 6月 13日 2022年度第2回理事会開催
- ・ 6月 13日 2022年度定時評議員会開催、島内景二評議員の任期半ばでの退任を承認
- ・ 6月 16日 センター学芸アドバイザーとしての業務委託にて1名と契約締結

- ・ 6月 22日 辻・本郷税理士法人より2021年度決算報告・事業報告他一式を内閣府へ電子申請
- ・ 7月 6日 財団役員についての変更登記完了
- ・ 9月 10日 褒賞事業修正内容についての承認を書面決議にて行なう
- ・ 11月14日 2022年度第3回理事会開催
- ・ 11月26日 褒賞事業再修正内容についての承認を書面決議にて行なう
- ・ 12月16日 奨学生・奨学金業務専門担当として㈱ブルボンを退社者と契約し勤務いただく
- ・ 2023年1月24日
柏崎市財務部税務課へ令和5年度償却資産申告書を提出
- ・ 2023年3月24日
辻・本郷税理士法人より内閣府へ2023年度事業計画、収支予算書及び資金調達の見込みを電子申請

(3) 賛助会員・寄付金状況

賛助会員(法人)	65社	6,139,615 円
賛助会員(個人)	78名	259,000 円
合 計		6,398,615 円
一般寄付金		100,000 円
特定寄付金		0 円
		(ドネーションボックス内寄付金額:50,339 円)
合 計		150,339 円

*上記の寄付金は、「正味財産増減計算書」内の「受取寄付金」に含まれます。

以上

2022年度奨学事業に関する事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1. 事業の概要

(1) 2022年4月進学(第46回)奨学生採用決定(2022年3月31日)

対象者	採用計画	採用決定
大学生	25名	28名

(2) 奨学金貸与(4月15日から貸与開始、第46回奨学生は4月下旬に4・5月2か月分開始)

対象者	人数	1名当り貸与額		当年度貸与額
大学院生 大学生	96名 (5月より95名) (7月より94名) (10月より95名) (11月より94名) (大学院1年生 1・2・3・4・5年生 96名)	大学院生1年生 1・2・3・4・5年生 月額 30,000 円	年額 360,000 円	33,990,000 円

※1 5年生は1年留年の1名および奨学金休止から貸与再開(4月、10月)した2名

※2 2022年4月にて経済的に安定したため、奨学金貸与辞退1名

※3 2022年6月にて経済的に安定したため、奨学金貸与辞退1名

※4 2022年10月にて退学のため、奨学金貸与辞退1名

(3) 2023年4月進学(第47回)奨学生募集

① 募集計画数 大学生 25名

② 募集活動

・対象校 高等学校841校

(新潟県141校、山形県76校、長野県127校、福島県122校
青森県87校、秋田県72校、岩手県95名、宮城県121校)

・募集要項発送 9月25日

・応募締切 12月31日

③ 出願者および選考(第一次選考委員会、2023年1月21日)

・応募者数8県24校28名にて第一次合格者を27名とし、1名を補欠候補者として決定し、該当高等学校及び本人に通知

・3月22日に第一次合格者1名より辞退の申し出あり

・3月23日に補欠候補者より1名を繰上合格として、該当高等学校及び本人に通知

対象者	採用計画	出願者	1次合格	採用決定(最終)
大学生	25名	28名	一次合格 27名 補欠候補者 1名	27名

2023年4月進学（47回）奨学生採用者名簿（27名）

奨学生番号	性別	出身高等学校	進学大学(学部もしくは学科)
652	女	新潟県立新潟高等学校	静岡大学グローバル共創科学部 グローバル共創科学科
653	女	新潟県立新潟江南高等学校	新潟国際情報大学国際学部 国際文化学科
654	男	新潟県立国際情報高等学校	東京理科大学先進工学部 機能デザイン工学科
655	女	聖ウルスラ学院英智高等学校	東北学院大学経済学部 経済学科
656	女	東京学館新潟高等学校	新潟医療福祉大学リハビリテーション学部 鍼灸健康学科
657	男	青森県立田名部高等学校	岩手大学農学部 食料生産環境学科
658	女	新潟県立佐渡高等学校	高知県立大学社会福祉学部 社会福祉学科
659	女	宮城県利府高等学校	尚絅学院大学心理教育学群 心理学類
660	男	佐久長聖高等学校	平成国際大学スポーツ健康学部 スポーツ健康学科
661	男	佐久長聖高等学校	仙台大学体育学部 現代武道学科
662	男	長野県下諏訪向陽高等学校	新潟医療福祉大学医療技術学部 救急救命学科
663	男	岩手県立大船渡高等学校	東京理科大学創域理工学部 電気電子情報工学科
664	女	山形学院高等学校	東京聖栄大学健康栄養学部 管理栄養学科
665	女	青森県立青森北高等学校	青森中央学院大学経営法学部 経営法学科
666	女	佐久長聖高等学校	東京理科大学薬学部 薬学科
667	女	宮城県利府高等学校	仙台大学体育学部 子ども運動教育学科
668	男	新潟県立加茂高等学校	新潟薬科大学医療技術学部 臨床検査学科
669	男	新潟県立長岡工業高等学校	金沢工業大学情報フロンティア学部 メディア情報学科
670	女	新潟県立村上中等教育学校	信州大学繊維学部 化学・材料学科
671	男	東海大学付属諏訪高等学校	東海大学文学部 英語文化コミュニケーション学科
672	女	新潟県立新潟高等学校	新潟大学農学部 農学科
673	男	宮城県美田園高等学校	東北工業大学工学部 電気電子工学科
674	女	秋田県立秋田高等学校	山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科
675	女	常盤木学園高等学校	名古屋外国語大学外国語学部 英米語学科
676	男	青森県立青森高等学校	東北大学農学部
677	女	岩手県立盛岡第四高等学校	東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科
678	男	上越高等学校	新潟青陵大学福祉心理子ども学部 社会福祉学科

2023年4月進学(47回)奨学生

奨学生採用実績および次年度採用案

	第36回 24/4	第37回 25/4	第38回 26/4	第39回 27/4	第40回 28/4	第41回 29/4	第42回 30/4	第43回 2019/4	第44回 2020/4	第45回 2021/4
大学生	20名	20名	25名	21名	24名	11名	25名	24名	19名	25名

第46回 2022/4	第47回 2023/4	第48回 2024/4
28名	27名	25名

奨学生在学者数

年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生
平 18 年度	54名	平 23 年度	65名	平 28 年度	88名	2021 年度	89名
平 19 年度	53名	平 24 年度	70名	平 29 年度	80名	2022 年度	96名
平 20 年度	52名	平 25 年度	77名	平 30 年度	81名	2023 年度	95名
平 21 年度	55名	平 26 年度	84名	2019 年度	85名		
平 22 年度	59名	平 27 年度	84名	2020 年度	80名		

※ 2023年度の在学者数には、2023年4月1日時点において奨学金貸与を休止している2名を除いてあります。

卒業生数(2023年3月卒業生まで)

大 学	567名(うち中途辞退者等31名)
高 専	13名(うち中途辞退者等 1名)
合 計	580名(うち中途辞退者等32名)

卒業生就職状況(中途辞退者を含む)

単位 名

	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	計	比率 (%)
建 設 業						1	1			1		1		1	5	2.1
製 造 業	1		2	1	2	1	1	1	2	2	1	1		1	16	6.6
公 務・団 体	1		1	2	1	1	4	2			1	3	1	1	18	7.4
教 職 員	1	1		1	1		1		2		1	1		1	10	4.1
金 融・保 険・証 券			2		2			4			4	1	1	2	16	6.6
運 輸・通 信							3	1	1	2	3	4	4	3	21	8.6
電 力・ガ ス															0	0.0
卸 売・小 売 業	1				4	1	1	1	1	4	1	1	3		18	7.4
医 療・福 祉		1	3	2		3	2	2	3	1	1	2		5	25	10.3
そ の 他	5	5	4	6	2	2	3	3	4	5	3	6	1	4	53	21.8
進 学 等	3	3	2	1	1	3	1		2	7	2	2	1		28	11.5
不 詳・死 亡	1	2		2	1	3	4	4		4	3	2	4	3	33	13.6
計	13	12	14	15	14	15	21	18	15	26	20	24	15	21	243	100.0

2022年度(2022年4月～2023年3月)奨学金貸付および返還状況

		人数	22年度3月末 貸付残高	当年度貸付	当年度返還	23年度3月末 貸付残高
貸 与 終 了 者 ①	2000/3卒	1	193,000	0	193,000	0
	2010/3卒	2	461,000	0	116,000	345,000
	2011/3卒	3	1,036,000	0	355,000	681,000
	2012/3卒	4	896,000	0	406,000	490,000
	2013/3卒	5	1,686,000	0	539,000	1,147,000
	2014/3卒	5	1,028,000	0	456,000	572,000
	2015/3卒	12	5,488,330	0	2,058,000	3,430,330
	2016/3卒	10	5,014,000	0	1,172,000	3,842,000
	2017/3卒	18	9,638,000	0	2,496,000	7,142,000
	2018/3卒	14	13,046,000	0	2,433,000	10,613,000
	2019/3卒	15	15,892,000	0	3,330,000	12,562,000
	2020/3卒	18	23,776,000	0	4,476,000	19,300,000
	2021/3卒	15	18,100,000	0	2,798,000	15,302,000
	2022/3卒	20	30,000,000	0	7,368,000	22,632,000
	小計	142	126,254,330	0	28,196,000	98,058,330
在 校 生 ②	第42回	3	4,890,000	1,260,000	0	6,150,000
	第43回	21	22,680,000	7,290,000	0	29,970,000
	第44回	19	13,680,000	6,510,000	750,000	19,440,000
	第45回	25	9,000,000	8,850,000	0	17,580,000
	第46回	28	0	10,080,000	360,000	9,720,000
		小計	96	50,250,000	33,990,000	1,110,000
合計		238	176,504,330	33,990,000	29,306,000	181,188,330

(注) ①貸与終了者には中途辞退者を含み、返還完了者は除いてあります。

②2022年4月1日時点における休止者について、在校生の人数からは除いてありますが、貸付残高には含まれています。

第42回生 2022年10月15日付で1名復学により貸与復活(3名→4名)

第43回生 2022年6月15日付で1名辞退により貸与終了(21名→20名)

第43回生 2023年3月15日付で1名大学院進学前により2023年4月から6月の間貸与休止(22名→21名)

第44回生 2022年4月15日付で1名辞退により貸与終了(19名→18名)

第44回生 2023年3月15日付で1名辞退により貸与終了(18名→17名)

第44回生 2023年3月15日付で1名休学により貸与休止(17名→16名)

第45回生 2022年10月15日付で1名辞退により貸与終了(25名→24名)

第45回生 2023年3月15日付で1名辞退により貸与終了(24名→23名)

第46回生 2023年3月15日付で2名辞退により貸与終了(28名→26名)

以上